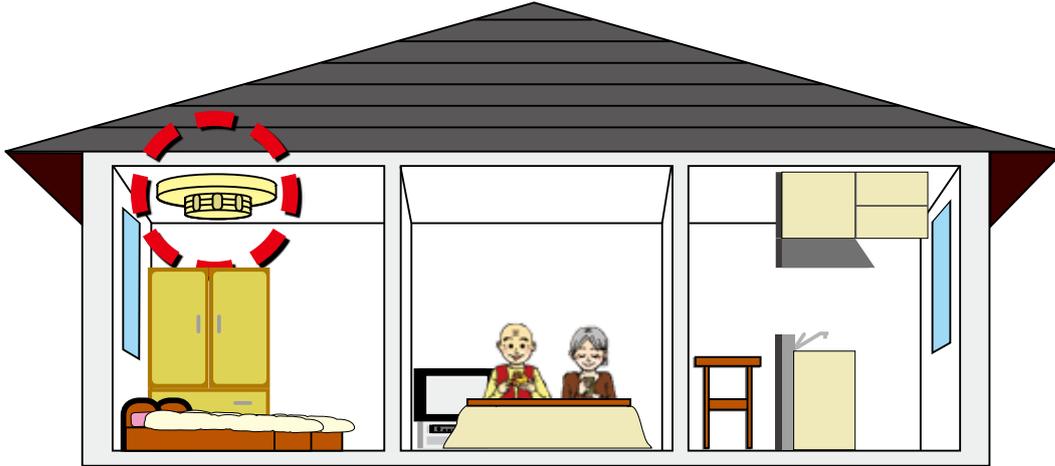


- ①**寝たばこをしない！ **②**ストーブの周りに物を置かない！
③キッチンのコンロまわりに燃えやすい物を置かない！

① 平屋建住宅設置例

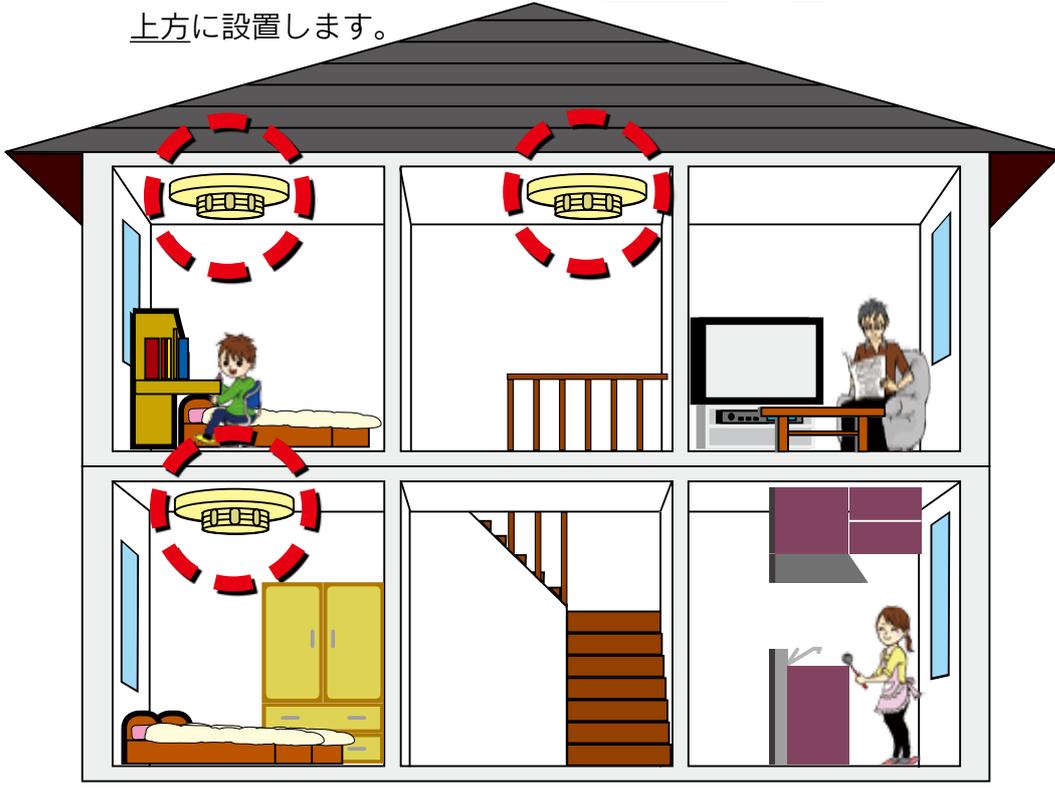
※就寝の時に使用する居室（**寝室**）に設置します。



② 二階建住宅設置例

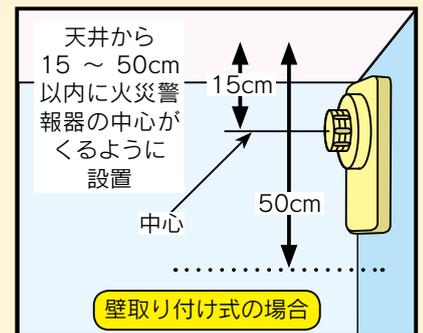
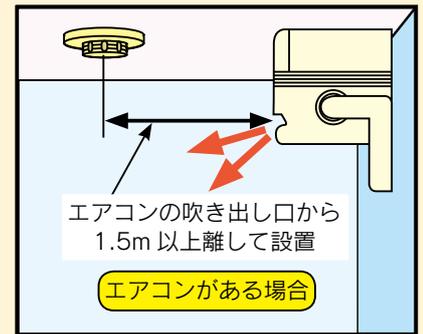
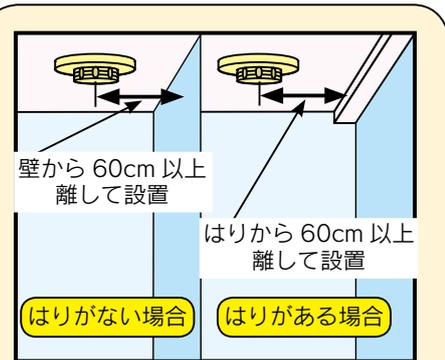
※寝室が1階のみの場合は、**寝室**に設置します。

※寝室が2階にもある場合は、**寝室と2階の階段**の上方に設置します。



A 住宅用火災警報器の基本的な取り付け場所は、**寝室**（特に就寝時間帯における逃げ遅れを防ぐため）です。そのほか、条件により階段や廊下に設置が必要な場合があります。なお、台所には設置義務はありませんが、火災予防のため（熱式住宅用火災警報器）の設置をお勧めします。

Q 火災警報器はどこに設置したらいいのですか？



● 取り付け時のポイント

【天井取り付け式火災警報器】

- ※火災警報器の中心（感知部）を**壁から60cm以上離して**設置します。
- 天井にはりがある場合には、**はりから60cm以上離して**設置します。
- ※エアコンや換気扇の吹き出し口付近では、**1.5m以上離して**設置します。

【壁取り付け式火災警報器】

- ※火災警報器の中心（感知部）が**天井から15cm～60cmの範囲内**にくるように設置します。

目指そう火災ゼロの町！